

平成25年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月12日

上場会社名 株式会社ビューティ花壇 上場取引所 東
 コード番号 3041 URL http://www.beauty-kadan.com
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三島 美佐夫
 問合せ先責任者(役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 須浪 薫 (TEL) 03-5625-4344
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年6月期第2四半期の連結業績(平成24年7月1日~平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年6月期第2四半期	2,420	15.6	42	20.3	45	47.8	△4	—
24年6月期第2四半期	2,094	2.3	35	△54.5	30	△59.1	3	△94.7

(注) 包括利益 25年6月期第2四半期 4百万円(—%) 24年6月期第2四半期 △6百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年6月期第2四半期	△194.22	—
24年6月期第2四半期	174.82	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年6月期第2四半期	2,492	605	21.0
24年6月期	2,309	637	24.6

(参考) 自己資本 25年6月期第2四半期 522百万円 24年6月期 567百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年6月期	—	0.00	—	1,775.00	1,775.00
25年6月期	—	0.00	—	—	—
25年6月期(予想)	—	—	—	1,580.00	1,580.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年6月期の連結業績予想(平成24年7月1日~平成25年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,100	15.0	210	36.2	210	35.4	110	△11.0	5,267.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

25年6月期2Q	25,830株	24年6月期	25,380株
25年6月期2Q	4,497株	24年6月期	4,497株
25年6月期2Q	20,883株	24年6月期2Q	21,216株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は経済状況等の様々な不確定要素によりこれらの予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	5
4. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	12
(5) セグメント情報等	12
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災の復興需要等を背景として緩やかに回復しつつあります。また、12月26日発足した安倍内閣が掲げる経済政策への期待感が先行し、後半にかけては円安、株高へと推移しました。しかしながら、増税や雇用不安などにより依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社は、このような状況の中、中期経営計画の達成に向けてグループ一丸となって取り組んでおります。全社基本方針として新規顧客の積極的な開拓と既存顧客内での当社への発注シェアアップによる売上拡大、徹底的な経費削減を推進してまいりました。この結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、2,420,978千円(前年同期比15.6%増)、営業利益は42,313千円(前年同期比20.3%増)、経常利益は45,404千円(前年同期比47.8%増)、四半期純損失は4,055千円(前年同期は3,708千円の四半期純利益)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(生花祭壇事業)

生花祭壇事業の売上高は、1,534,407千円(前年同期比1.4%減)となりました。経済産業省「特定サービス産業動態統計調査」によると、葬儀業の平成24年7月から平成24年11月までの売上高は233,902百万円(前年同期比1.2%増)、取扱件数は164,688件(前年同期比2.2%増)と金額ベース、件数ベースともに増加傾向にあります(同調査は、平成24年1月分より葬儀業において、一部調査対象の追加等が行われており、平成23年12月以前の数値はリンク係数で除した数値で前年比較を行っております)。このような状況の中、前述の全社基本方針を徹底した結果、営業利益は196,263千円(前年同期比49.2%増)となりました。

(生花卸売事業)

生花卸売事業の売上高は、442,431千円(前年同期比9.7%増)となりました。東京都中央卸売市場「市場統計情報」(平成24年12月)によると、平成24年7月から平成24年12月までの切花累計の取扱数量は483百万本(前年同期比0.6%減)、金額では29,884百万円(前年同期比1.2%減)となっております。当社では、前述の全社基本方針を徹底した結果、売上高、売上数量ともに増加傾向にありましたが、主力の生花祭壇事業における取扱数量の減少、また、輸入比率の上昇に伴う荷造運賃の増加により販売費及び一般管理費が増加し、営業利益は77,749千円(前年同期比7.0%減)となりました。

(ブライダル装花事業)

ブライダル装花事業の売上高は、145,645千円(前年同期比7.9%増)となりました。結婚式場業は少子化と晩婚化の影響を受けており、経済産業省「特定サービス産業動態統計調査」によると、平成24年6月から平成24年11月までの結婚式場業の売上高は81,903百万円(前年同期比3.8%減)、取扱件数は27,443件(前年同期比5.5%減)と減少傾向にあります。ブライダル装花事業を請け負う連結子会社の株式会社One Flowerにおいて、新規顧客の積極的な開拓と既存顧客における当社への発注シェアアップによる売上アップにより、営業利益は22,344千円(前年同期比83.1%増)となりました。

(土木・建設事業)

土木・建設事業は、熊本市内及びその近郊にて事業をおこなっております。熊本県内の近年の工事の内容を見ると民間発注工事の落ち込みが著しく、公共工事は微増であります。熊本県は火山、白川、緑川と大きな河川があり、自然災害に備える維持、修繕工事は今後暫く堅調に推移をするものと思われまます。また、公共工事の特性上、工事の発注・完成時期が3月頃に集中し、9月までは閑散時期にあたりまます。この結果、土木・建設事業の売上高は195,843千円、営業損失は7,348千円となりました。

(その他の事業)

その他の事業は、システム開発事業を行っております。売上高は102,650千円、営業損失は7,110千円となりました。当事業は、葬儀関連会社に対する基幹システム、名札書きシステム及びモバイル端末を用いた電子カタログや建築事業者に対するCADシステムの開発を行っております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 財政状態

当第2四半期連結会計期間の総資産は、前連結会計年度末に比べ183,315千円増加し2,492,472千円となりました。流動資産は、前連結会計年度末に比べ190,698千円増加し、1,399,963千円となりました。これは主に現金及び預金の増加によるものであります。固定資産は、前連結会計年度末に比べ7,383千円減少し1,092,508千円となりました。これは主に、減価償却によるものです。

当第2四半期連結会計期間の負債は、前連結会計年度末に比べ215,684千円増加し、1,886,958千円となりました。流動負債は、前連結会計年度末に比べ342,943千円増加し、1,298,237千円となりました。これは主に、短期借入金及び1年内返済予定の長期借入金の増加によるものであります。固定負債は、前連結会計年度末に比べ127,258千円減少し、588,721千円となりました。これは主に、長期借入金の減少によるものであります。

当第2四半期連結会計期間の純資産は、前連結会計年度末に比べ32,370千円減少し、605,513千円となりました。これは主に、配当金の支払いによる利益剰余金の減少によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末と比べ214,658千円増加し、743,336千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、営業活動の結果獲得した資金は259,496千円（前年同期は32,196千円の獲得）となりました。これは主に、仕入債務の増加額58,990千円と未成工事受入金の増加額68,501千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、投資活動の結果使用した資金は68,885千円（前年同期は227,144千円の使用）となりました。これは主に、関係会社株式の取得による支出37,000千円、有形及び無形固定資産の取得による支出40,961千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、財務活動の結果獲得した資金は27,800千円（前年同期は29,545千円の獲得）となりました。これは主に、借入金の純増82,965千円の一方で、配当金の支払額37,067千円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年6月期の通期業績予想につきましては、平成24年8月10日発表の「平成24年6月期決算短信」に記載の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	528,677	743,336
受取手形及び売掛金	464,480	514,157
完成工事未収入金	108,996	8,540
商品	5,452	4,078
仕掛品	1,225	4,517
原材料及び貯蔵品	20,671	28,258
未成工事支出金	62	1,840
その他	88,548	105,359
貸倒引当金	△8,849	△10,124
流動資産合計	1,209,265	1,399,963
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	439,077	422,469
減価償却累計額	△173,044	△164,423
建物及び構築物(純額)	266,032	258,045
工具、器具及び備品	203,510	179,489
減価償却累計額	△141,412	△127,184
工具、器具及び備品(純額)	62,098	52,304
土地	298,977	298,977
その他	142,206	165,788
減価償却累計額	△62,356	△79,593
その他(純額)	79,849	86,194
有形固定資産合計	706,958	695,522
無形固定資産		
のれん	74,384	69,071
その他	7,525	11,820
無形固定資産合計	81,910	80,892
投資その他の資産		
その他	352,465	356,155
貸倒引当金	△41,442	△40,061
投資その他の資産合計	311,023	316,093
固定資産合計	1,099,891	1,092,508
資産合計	2,309,157	2,492,472

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	106,550	129,368
短期借入金	158,890	270,000
1年内返済予定の長期借入金	334,072	416,180
未払法人税等	38,995	37,583
賞与引当金	1,260	9,335
その他	315,525	435,768
流動負債合計	955,294	1,298,237
固定負債		
社債	65,000	50,000
長期借入金	604,773	494,520
退職給付引当金	23,552	24,755
その他	22,654	19,445
固定負債合計	715,979	588,721
負債合計	1,671,274	1,886,958
純資産の部		
株主資本		
資本金	213,240	213,240
資本剰余金	133,240	133,240
利益剰余金	389,589	348,466
自己株式	△161,503	△161,503
株主資本合計	574,565	533,442
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,556	86
為替換算調整勘定	△8,241	△11,099
その他の包括利益累計額合計	△6,684	△11,013
少数株主持分	70,002	83,084
純資産合計	637,883	605,513
負債純資産合計	2,309,157	2,492,472

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年12月31日)
売上高	2,094,530	2,420,978
売上原価	1,743,791	1,924,601
売上総利益	350,739	496,376
販売費及び一般管理費	※1 315,555	※1 454,063
営業利益	35,184	42,313
営業外収益		
受取利息及び配当金	190	319
受取賃貸料	5,256	5,784
為替差益	428	—
その他	1,594	11,850
営業外収益合計	7,469	17,954
営業外費用		
支払利息	5,031	8,007
貸倒引当金繰入額	3,150	—
不動産賃貸費用	2,100	2,036
為替差損	—	3,548
その他	1,641	1,271
営業外費用合計	11,924	14,863
経常利益	30,729	45,404
特別損失		
固定資産除却損	14,875	9,460
その他	—	1,909
特別損失合計	14,875	11,370
税金等調整前四半期純利益	15,853	34,034
法人税、住民税及び事業税	12,404	25,678
法人税等調整額	3,806	△3,525
法人税等合計	16,210	22,152
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△357	11,882
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△4,066	15,938
四半期純利益又は四半期純損失(△)	3,708	△4,055

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△357	11,882
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	△1,470
為替換算調整勘定	△6,008	△5,717
その他の包括利益合計	△6,008	△7,187
四半期包括利益	△6,365	4,694
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	704	△8,384
少数株主に係る四半期包括利益	△7,070	13,079

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	15,853	34,034
減価償却費	28,035	38,684
のれん償却額	—	5,313
差入保証金償却額	379	1,896
長期前払費用償却額	5,090	5,079
貸倒引当金の増減額(△は減少)	11,875	559
賞与引当金の増減額(△は減少)	—	8,075
退職給付引当金の増減額(△は減少)	809	1,203
受取利息及び受取配当金	△190	△319
受取賃貸料	△5,256	△5,784
補助金収入	△420	△3,099
支払利息	5,031	8,007
固定資産除売却損益(△は益)	14,875	9,460
売上債権の増減額(△は増加)	△46,809	47,941
たな卸資産の増減額(△は増加)	△15,281	△11,283
その他の資産の増減額(△は増加)	△3,665	△7,539
仕入債務の増減額(△は減少)	24,159	58,990
未成工事受入金の増減額(△は減少)	—	68,501
その他の負債の増減額(△は減少)	30,308	24,477
その他	4,319	780
小計	69,116	284,980
利息及び配当金の受取額	190	319
賃貸料の受取額	3,915	4,508
補助金の受取額	420	3,099
利息の支払額	△4,425	△6,629
法人税等の支払額	△37,020	△26,782
営業活動によるキャッシュ・フロー	32,196	259,496
投資活動によるキャッシュ・フロー		
貸付けによる支出	—	△2,000
貸付金の回収による収入	2,884	2,369
関係会社株式の取得による支出	—	△37,000
有形及び無形固定資産の取得による支出	△229,984	△40,961
投資有価証券の取得による支出	—	△1,000
投資有価証券の売却による収入	—	3,728
保険積立金の積立による支出	△17,459	△17,691
保険積立金の払戻による収入	—	4,423
差入保証金の差入による支出	△1,376	△723
差入保証金の回収による収入	19,671	19,841
投資その他の資産の増減額(△は増加)	△879	127

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年12月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー	△227,144	△68,885
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	215,000	360,000
短期借入金の返済による支出	△90,500	△248,890
長期借入れによる収入	100,000	320,000
長期借入金の返済による支出	△98,180	△348,145
社債の償還による支出	△35,000	△15,000
配当金の支払額	△42,696	△37,067
自己株式の取得による支出	△15,687	—
その他	△3,390	△3,096
財務活動によるキャッシュ・フロー	29,545	27,800
現金及び現金同等物に係る換算差額	△8,346	△3,753
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△173,748	214,658
現金及び現金同等物の期首残高	515,811	528,677
現金及び現金同等物の四半期末残高	※1 342,062	※1 743,336

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

前第2四半期連結累計期間(自 平成23年7月1日 至 平成23年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	生花祭壇事業	生花卸売事業	ブライダル 装花事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,556,383	403,162	134,984	2,094,530	—	2,094,530
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	473,214	4,601	477,816	△477,816	—
計	1,556,383	876,377	139,585	2,572,346	△477,816	2,094,530
セグメント利益又は損 失(△)	131,584	83,642	12,206	227,433	△192,249	35,184

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△192,249千円には、セグメント間取引消去1,226千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△193,475千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年7月1日 至 平成24年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	生花祭壇 事業	生花卸売 事業	ブライダル 装花事業	土木・建設 事業	計			
売上高								
外部顧客への売上高	1,534,407	442,431	145,645	195,843	2,318,327	102,650	—	2,420,978
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	448,587	4,246	—	452,834	10	△452,844	—
計	1,534,407	891,019	149,891	195,843	2,771,162	102,660	△452,844	2,420,978
セグメント利益又は 損失(△)	196,263	77,749	22,344	△7,348	289,008	△7,110	△239,585	42,313

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム開発事業であります。

2. セグメント利益又は損失の調整額 △239,585千円には、セグメント間取引消去△17,603千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 △221,981千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年7月1日 至 平成24年12月31日)

該当事項はありません。